

**神奈川区地域子育て支援拠点事業
令和3年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

| | |
|----------------------|---|
| 事業実施期間 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日(5年度目／5か年度) |
| 事業の実施者 | 特定非営利活動法人親がめ |
| | 神奈川区こども家庭支援課 |
| 事業目的 | <p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 神奈川区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点到立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営 |
| 事業の内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業) |
| 事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。 |

令和3年度重点目標の評価

| | |
|-----------|--|
| 令和3年度重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1, かなーちえサテライト拠点が開所しました(令和2年・3月)。乳幼児を持つ子育て世帯が多い地域の中で、身近な寄り添い型支援により、子育て中の人たちが互いに支え合い、子どもの育ちを見守り合う関係づくりを、地域との連携を基に育みます。 2, 感染症拡大終息の見通しが立たない状況の中、多様な親子や地域の支え手が安心・安全に拠点や地域の場を利用できるよう、柔軟な運営を重ねます。 <p>また、地域のすくすくかめっ子はじめ様々な場の継続に向けて、きめ細かく連携を図り、時々々のニーズをひろいながらネットワークを育みます。</p> |
| 取組内容 | <ol style="list-style-type: none"> ①感染拡大防止に努めつつ、地域のつながりや育ち合いの醸成が感じられる場づくりを工夫しながら事業を展開します。 ②拠点に行きにくい人達に向けてのオンライン事業や、各種事業を行い、多様な親子、地域の人が訪れる拠点づくりに努めます。 ③公園やプレイパーク等、野外にも定期的に出向き、相談・情報提供を行います。 ④サテライト機能を生かし、これまで拠点に行きにくかった地域の親子に向けて、年間を通じた各種事業や相談を行いながら、居心地の良い居場所となるよう環境整備を行う。 |

| | |
|-------|---|
| 取組の成果 | <p>①感染症による影響で、日々の様々な体験の機会が奪われる中ではありましたが、基本的な感染対策を踏まえながらできることを模索し、拠点機能を停止することなく運営することができました。このことは、利用者や地域の支え手にとって大きな安心感につながったという多くの声が寄せられました。マタニティ向け事業の充実を図りました。</p> <p>①対面で計画していた事業については、感染状況に応じて速やかにオンラインへ切り替え、機会の確保に努めました。</p> <p>②オンラインによる事業実施は計31回開催しました。</p> <p>子育て当事者向けの事業では、これまで拠点利用をしたことが無かった層の参加もあり、新たなアプローチの可能性が見い出されました。</p> <p>②SNSを活用した情報発信を開始し、日々の拠点の様子を積極的にPRしました。</p> <p>③コロナ禍による室内の居場所利用に不安を持つ利用者の声に配慮し、積極的に外の場へ出向き、相談提供を行いました。</p> <p>④サテライトへの来所のきっかけとなるよう、父親や親向け事業や、対話型・地域連携等多様な事業を開催しました</p> <p>④子ども達の動きに合わせて自然とエリア分けができるレイアウト構成や、活動特性に応じた遊びの工夫を意識的に行い、来所者が自然と触れ合いや語り合いが生まれる場がつくられています。</p> <p>④一軒家の良さが活きる地域に開かれた居場所となっており、地域ボランティアや関係各所を含め、様々な世代の交流が生まれています。今後も地域の理解と支援をもとに柔軟な拠点運営を目指します。</p> |
| 取組の課題 | <p>→コロナ禍の中で、養育者たちは不安を抱え、孤立化がすすんでいます。乳幼児も人とのふれあいや体験の機会が減少しています。こうした状況を行政や地域と共有し、課題に対応した拠点での事業展開が求められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな利用者の発掘や利便性向上のため、引き続きオンラインプログラムの拡充と、対応できるスタッフのスキルアップを図ります。 ・かめっこ等の地域の居場所の支援者同士が交流する機会が減少したことから、オンラインを含めた交流の機会の確保が必要です。 |

次年度重点目標

| | |
|-----------|--|
| 令和4年度重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染拡大に努めながら、拠点としての「場」を開き、子育て当事者間の対話やふれあい、交流を育む機会を創出していきます。 2. こどもの年齢や発達に適した多様な遊び環境を整え、豊かな体験を育む機会を作ります。 3. すくすくかめっこをはじめ、様々な場の継続に向けて、地域の支え手との交流の機会を通してきめ細かく連携し、ネットワークの維持構築に努めます。 |
| 取組内容 | <ol style="list-style-type: none"> ①共感と生きた情報交換に支えられる語り合いの場をつくるため、テーマ別に対話型タイムを定例開催していきます。 ②素材遊びやふれあい遊び、集団あそび、ごっこ遊び、など、様々な遊びの体験ができる機会と環境を整備します。 ③野外の公園遊び、プレイパーク等との連携・協働をもとに、区とともに外遊び活動支援事業を推進します。 ④地域の支え手同士のネットワークタイムを年間を通して実施し、活動の意義や相互理解を深めることができるよう支援します。 |